

昭和大学医学部Ⅱ期入試の解答速報

合計 100 点

1

【解答】 [10 点(各 2 点×5)]

(1) C (2) B (3) A (4) E (5) D

【解説】

- | | | |
|----------------------|--------------------|--------------------|
| (1) A. [léid] | B. [méid] | C. [séd] |
| D. [béit] | E. [wéist] | |
| (2) A. [sí:s] | B. [inklóuz] | C. [lú:s] |
| D. [inkrí:s] | E. [rilí:s] | |
| (3) A. [pínpoint] | B. [kənæ'l] | C. [ivént] |
| D. [æntí:k] | E. [taifú:n] | |
| (4) A. [résəpi] | B. [æ'dʒiktiv] | C. [kæ'nədə] |
| D. [práimeri] | E. [prəpélə(r)] | |
| (5) A. [éləvèitə(r)] | B. [vɑ'ləntəri] | C. [lít(ə)rəʃə(r)] |
| D. [lít(ə)rəʃə(r)] | E. [kɑ'nsəkwèntli] | |

2

【解答】 [20 点(各 2 点×10)]

(1) E (2) E (3) A (4) B (5) B (6) E (7) B (8) B (9) B (10) C

【解説】

(1) 「私が間違っなければならない、あれはアリスだ。」

空所の部分は補語になっているので、まず A の副詞は不可となり、B、D は「誤りを犯すこと」という行為を表すので、主語の I の補語としては意味的に合わない。C の *mistakable* は *confusing* と同義で、事柄 *is mistakable* 「事柄が誤解を招きやすい」という使い方をする。E は、人 *is mistaken* 「人が誤っている」となるので、これが正解。

(2) 「彼が私たちを助けてくれるためにそこにいてくれるのを頼りにしている。」

rely on A 「A を頼りにする」という使い方をするので、B、D は不可。A について、*that* 節を目的語にできる前置詞は *in, but, except, save* だけなので不可。C は前置詞の後

に文が来ているので不可。したがって、E が正解。なお、him ~ us が前置詞 on の目的語になる動名詞句になっており、him が動名詞の意味上の主語。

- (3) 「マイクの出身地では、子供は通常 7 歳で就学する。」

関係副詞の先行詞の前に前置詞がついている場合、「前置詞 + 関係副詞」を省略できるので、空所の前に in the place が省略されていると考える。なお、where は関係副詞節内で前置詞 from の目的語になっている。類例としては、Where there is a will, there is a way. 「意思あるところに道がある」

- (4) 「木製の家は、鉄とコンクリート製の家よりも長持ちしない。」

A と C は空所の直後に動詞がないので文構造上不可。形容詞句 made of iron and concrete が空所部分を後置修飾しているが、E の it は人称代名詞なので形容詞によって修飾不可。D の that は、The population of Tokyo is larger than that of Osaka. の the population のように特定の一つのものしかない場合に用いることができる。問題文の主語は a house であり、木製の家も、鉄とコンクリート製の家も、特定の一つではなく、世の中に無数にあるため、B の one が正解となる。類例としては、A roof made of reed is more durable than one made of straw. 「アシでできた家はわらでできた家よりも長持ちする」

- (5) 「私たち自身の宇宙とは根本的に違っている並行宇宙が存在しているという証拠は、依然として科学の範疇を超えたところにあるかもしれない。」

parallel universes を 2 語以上の形容詞句 radically ~ own が後置修飾している。したがって、形容詞になっている B が正解。

- (6) 「深いため息をついて、よくわからない彼の方言に、数時間とも思える間、耳を傾けていた。」

E を空所に入れると、副詞句 for what seems like hours が、listen と to の間に割り込んでいくのがわかる。したがって、これが正解。

- (7) 「あなたの受け持っている生徒の何パーセントが大学に行きますか？」

What percentage で「何パーセント」という言い方をする、したがって、B が正解。

- (8) 「昨日の晩、子供たちは映画を観るために夜更かしするのを許された。」

A は be stay が stay でなければならない。C は could と be capable of の意味が重複している。D の could は過去の能力をあらわすため、「そのとき一回限りできた」という意味にするためには、were able to でなければならない。E は permit の語法から、to staying ではなく to stay でなければならない。したがって、B が正解。

- (9) 「新しい研究が急激に増え、科学者の糖尿病への理解が大きく変わり、糖尿病への対処方法について新しい手掛かりを与えている。」

diabetes 「糖尿病」は単数扱い。したがって、A は they、D と E は them で受けるのはおかしい。C は clues との語法の観点から of に無理がある。また、「それ(新しい研究の爆発的増加)が何を変えるのか」という意味になり、文脈的にも不自然。し

たがって、B が正解。

- (10) 「今日、地球上に、大部分がインドと東南アジアに、6 千頭ぐらいしかトラはいない。それは、たくさんいるように聞こえるけれども、保護主義者による 30 年にわたる努力の後でさえ、トラは絶滅の危険がある。」

endanger は「危険にさらす」という意味の他動詞なので、A、D は受け身になっていないので不可。E は be 動詞が are になっている点に問題がある。B は a tiger で総称名詞の使い方がなくはないが、C の the tiger で総称名詞として用いる方が標準的。

3

【解答】 [15 点(各 3 点×5)]

- (1) G, A : too much money to understand what it's like to be poor
- (2) A, B : the woman that Mary said would show us round
- (3) B, H : It was last week that John crashed the car
- (4) A, F : Rumor has it that Kim is not his child
- (5) B, A : It is about time he knew how to behave

【解説】

- (1) too ~ to 構文が用いられているが、形容詞 much が名詞 money を修飾しているため、too はその前、to はその後ろに置く。what ~ poor までの間接疑問文が名詞節を導き、他動詞 understand の目的語になっている。間接疑問文の部分は、what が前置詞 like の目的語になっており、it が仮主語で to be poor が真主語。以下の類例で、what と like の関係を確認しておこう。She is like an angel. 彼女は天使のようだ。→ What is she like? 彼女はどんな人ですか。→ I know what she is like. 彼女がどんな人なのか私は知っている。
- (2) 連鎖関係代名詞節が用いられている。問題文全体を 2 つに分けると以下のようになる。
Here's the woman.
* 下線部が引かれている語が先行詞になる。
Mary said (that) she would show us round the campus.
* 下線部が引かれている語が関係代名詞になり、Mary の前に置かれて文をつなぐ。
- (3) 強調構文で last week が強調されている。
- (4) 以下の構文を覚えておこう。Rumor has it that 節 = There is a rumor that 節 = The rumor is that 節 = Rumor says that 節 「噂では～」
- (5) It is (about / high) time 假定法過去 「そろそろ～する頃だ」

4

【解答】 [15点(各3点×5)]

(あ)E (い)D (う)C (え)E (お)C

【全訳】

[対話1]

M: 誕生日おめでとう, まりこ! これは君へのちょっとしたプレゼントだよ。

W: あらまあ, どうもありがとう。

M: 気に入ってくれるといいな。何を買ってきたらいいかわからなかったから。

W: 空けてもいいかしら。

M: もちろん。空けて, 中を見てみて。

(あ)

A. どういたしまして。

B. そうなんですよ。

C. さあ, どうぞ。

D. 私にまかせて。

E. どうもありがとう(あなたはそんなことすべきじゃなかったのに → 私のためにこんなことまでしてくれたなんて)。

(い)

A. そのままにしておけよ。

B. すごくしたいよ。

C. それを家に持ってきてください。

D. どうぞ。

E. 嫌じゃないだろう。

[対話2]

W: 私のチョコレートアイスクリーム食べたい?

M: たとえ俺が甘党だとしても, 嫌だと言わなきゃならないだろうな。

W: おいおい! またダイエット中じゃないわよね?

M: いやまあ, 実はダイエット中なんだ。食べ物減らそうとしているんだよ。

(う)

A. あなたに同意する。

B. もっと甘いもの食べてみる。

C. 嫌だと言う。

D. 機会を逃さない。

E. あなたに従う。

(え)

A. 実は、ダイエット中ではない。

B. 私はダイエットするつもりなのですが。

C. それは怪しいものだ。

D. からかうな。

E. 実はダイエットをしている。

[対話 3]

W : お客様, 御用を承りますが。

M : この店にある一番上等な車を見せろ。

W : ご予算の方はいかほどでございますか?

M : いくらでもいいぞ。金はうなるほどあるからな。

(お)

A. 安ければ安いほどいい。

B. 高くても 1 万ドルまでだな。

C. いくらでもいいぞ。

D. そんなに払えないぜ。

E. 安い値段でね。

5

【解答】 [40 点]

(1) A [2 点]

(2) E [2 点]

(3) D [2 点]

(4) D [2 点]

(5) A [2 点]

(6) E [2 点]

(7) E [2 点]

(8) D [2 点]

(9) ア E イ D ウ A エ C オ B [10 点(各 2 点×5)]

(10) 患者のプライバシーを守ることと警察に通報することとの板挟み。(30 字) [5 点]

(11) この患者が医師としての自分をもはや信頼しなくても、それを受け入れることは出来る。 [7 点]

(12) the greater good [2 点]

【解説】

- (1) (he is) not significantly injured 「損傷は深刻でない」ので、選択肢の B, D が外れる。また, not は enough to justify ~にもかかるので, 「X線撮影や CT スキャンを受ける必要はない」となる。したがって, 正解は A。
- (2) legally impaired は, 一般的には「法的な当事者能力がない」ことを表す。本文の文脈では, 「酒気を帯びているために, 判断応力が失われている」ことを表す。選択肢 B. は「判断応力が低下してい」という部分は飲酒による影響を示唆しているが, 「法を遵守できない」のではない。本文全体としては, 酒気帯び運転による事故に対する当事者能力を問題としている。したがって, 正解は E。
- (3) assume responsibility 責任を負う
- (4) 救急科に連れてこられた男の話が信用できないという叙述なので, 正解は D。
- (5) circumvent (vt.) ~を回避する [= bypass]
- (6) 下線部 4 の it が含まれる文中の the other vehicle involved を指している。
- (7) trump (vt.) ~よりも勝る
- (8) enjoy (vt.) (信頼など)を持っている / bonding (n.) 心の触れ合い, 絆の形成
- (9) [ア] 空所の直前に because of があるので, 空所を挟んで主節と空所以降の語句との間に因果関係があることを推定する。空所の前で述べられている「患者が医師に話したことはどんなことに関しても黙して語らないでいることが義務づけられている」の理由としては, E. 「医師と患者との関係にある守秘義務」が相応しい。
- [イ] 空所の直後で「彼の話は本当でありそうもない」と述べられているので, D. 「彼の話し方から判断して」が正解。 the way (conj.) ~から判断すると / relate (vt.) ~を説明する
- [ウ] 空所の直前で the police would have (detected ethanol on his breath) too 「警察も彼が吐く息からエタノールを検知したであろう」と述べられているので, A. 「それに気づくのが警察の仕事だ」が入る。なお, their は the police を受ける。
- [エ] 空所の直前に However があるので, 直前文と逆説的な内容の文が入る。直前では, 「患者はプライバシーの権利を持つし, 担当医としての私との間には秘密情報がある」と述べられているので, それと反対の主張が含まれる文として C. 「彼のプライバシーの権利は際限なく守られるものではない」が入る。
- [オ] 空所の直前で, 「私は神父でもなければ精神科医でもない」と述べられている。空所では, それらの職業の人たちを補足説明している。したがって, B. 「守秘義務を際限なく負う典型的な人たち」が入る。
- (10) 患者のプライバシーを守ることと警察に通報することとの板挟み。(30字)
[基準] 5点 [①配点せず ②4点 ③1点]
① 直後の第2段第4・5文を参考にまとめる。これには, 第5文の冒頭に,

Alternatively「あるいは」という語があるので、それを媒介に前後の文が対比的な内容になっていることを考えることが必要。

- ② dilemma「板挟み」の状況を述べているので、2つの相反する命題が書かれていることが必要。具体的には「患者のプライバシーを守ること」と「警察に通報すること」。それぞれの論点に2点ずつ配点する。
- ③ 説明問題なので、解答文の最後に「～という板挟み[ジレンマ]」や「～すること」などの文末処理をする。
- ④ 字数は指定数の8割[24字]以上とする。指定字数に満たなかったり、それを超えた解答は3点減点。なお、句読点も字数に含める。
- ⑤ 誤字・脱字・判読不能な文字はそれぞれ1点ずつ減点する。ただし、同一の間違いは繰り返し減点しない。

(11) [基準] 7点 [①1点 ②2点 ③4点]

- ① I can VP1.「私はVP1できる」 canを「かまわない」と訳してもよい。
- ② VP1 = live with NP1. :「NP1を受け入れる」
- ③ NP1 = that :「この患者が私をもはや信用しないこと」 直前の‘that this patient will not trust me anymore’を受けている。
- ④ 誤字・脱字・判読不能な文字はそれぞれ1点ずつ減点する。ただし、同一の間違いは繰り返し減点しない。

* NP [noun phrase] 名詞句

VP [verb phrase] 動詞句

(12) 第3段第1文の‘serve the greater good’が根拠。

【全訳】

事案

- [1] 25歳の若い男が、友人に車で救急科に送られてきて、到着する30分前に交通事故に遭ったと言っている。その男が言うには、車は大破したが、車から何とか出て、現場をうろろろしていたとのことである。意識ははっきりしていた。警察が現場検証をしていたそうだ。警察は取り調べをしたのか、あるいは警察はなぜ帰宅を許したのかを、自ら言うことはない。こぶや打撲傷を除いて、深刻な損傷を負っていないので、頭部のレントゲン撮影やCTスキャンを受ける必要はない。しかし、私は彼の吐く息にアルコールの臭いがすることに気づいたので、判断応力をもっと良く調べるために血中エタノール検査を指示する。彼が法的に酒気を帯びていれば、誰かが迎えに来て、身元を引き受けられない限り、救急科を出られないというのが私の判断だ。その男は検査を拒まない。血中エタノール度はデシリットル当たり0.17ミリグラムであり、そのことは法的判断応力がないことを示している。
- [2] 救急医たちは、法的判断応力が損なわれているのではないかと思える人たちは、警察

の取り調べによって自分が酒気を帯びていることを発覚するのを避けるために、事故現場を離れようとする強い動機があることを知っている。ひどい多重事故に巻き込まれて、重大な対物事故を起こしながら、それでいて警察が取り調べた後、アルコールによる酩酊状態の可能性を調べずに、現場を離れることを許したというこの患者の話は、事実とは思われがたい。しかし、私は倫理的にジレンマに陥る。私は、警察に通報して、救急科にいる判断能力が低下した人が、他にもケガをした人がいた可能性がある事故現場を立ち去ったかも知れないことを知らせる責任があるのだろうか？あるいは、患者が私に話したことはどんなことでも、医師と患者との関係には守秘義務があるので、黙ったままでいるべきなのだろうか？

[3] より大きな善に役立つためには、どんな決定を行うべきなのだろうか？

罪を犯した者だけではなく罪のない人を守る責務がある

[4] この患者は嘘をついていて、飲酒運転で逮捕されるのを避けるために事故現場から立ち去った疑いが強い。話の内容からして、それは本当でありそうもない。判断応力に少しでも疑いがある場合には、警察は事故現場から立ち去ることを決して認めないだろうからだ。私が彼の吐く息にエタノールが見つければ、警察もそうしただろう。それを見つけるのが彼らの職務だ。路上で飲酒検査を受けて、救急科で起こったことと同様に、エタノールを検知されて、逮捕されていたであろう。彼は事故現場を離れることで、それを回避していたことはわかっている。自分の車が大破したことを認めたのは、事故に巻き込まれた他の車も同じように大破して、それに乗っていた人たちも、現場で負傷したままそこにいる可能性を示している。人があまりいない地域でそのまま取り残されて、私が担当している患者以外は誰もその居場所を知らない可能性が十分にある。

[5] 当然のことながら、患者はプライバシーの権利を持つし、担当医としての私との間には秘密情報がある。しかし、そのプライバシーの権利は際限なく守られるものではない。その権利は罪なき人たちを傷つける可能性がある場合には、制約を受けるとするのが私の考えだ。しかし、患者のプライバシーを守る私の責務より、私の患者の違法で利己的な行動で危険に晒されてケガを負った可能性のある罪のない人たちが安全であるかどうかを調べる責務の方が勝るのだ。より大きな善のために医師と患者との関係にある守秘義務を破ることで被る不利益としてはどんなものがあるだろうか？この患者はもはや私を信じないだろうか？私はそれを受け入れることは出来る。利益としてもたらされるのは、助けを求めている罪のない負傷者の命を救う可能性であって、それは警察当局が救出の必要性を知らされなければ遅きに失するかも知れないのだ。私は神父でもなければ精神科医でもない。その様な職務の人たちは守秘義務を際限なく負う典型的な人たちだ。私は患者のケガを治療する優れた臨床的判断をする責務と、自分の患者と同様に他の者を守る責務を同等に負っている。その男は、私と切れることのない絆を持つわけではない。それは自らの行為の無責任さと違法性の両方またはいずれ

かに相応しいことだ。私は警察当局に電話して、近くで起こった自動車事故で負傷者がいる疑いがあることと、それに関して私が担当している患者に問い質してみる必要があることを伝えようと思っている。

【講評】

音声、文法、整序英作、会話文、総合的読解問題など出題形式は従来傾向と同じである。しかし、昨年度までのⅡ期の問題と比べて難易度は低下した。特に、読解問題は、質・量ともに簡単になった。テーマも医療倫理に関わる問題として、お馴染みの分野であり読みやすい。全ての問題を解くのに要する時間も60分あれば十分であろう。したがって、得点率としては85パーセントが合格最低ラインになるだろう。

【総括】

本年度の昭和大医学部Ⅱ期の問題でも私たちがやって来たことが正しかったと実証された。つまり、医療系英文を読むための背景知識をつけること、そして設問を解くための選択肢の判定技術の習得と下線部和訳や説明問題の解答添削である。

WINDOMで学習した生徒達の合格が期待できるゆえんである。